

総括質問で市長の施政方針を厳しくチェック

令和2年3月3日、戸田市議会定例会3月議会。伊東秀浩令和会団長は、市長の令和2年度施政方針に対し、具体的な内容を問う「総括質問」を行いました。



1. 教育行政

・「教育シンクタンク」の機能、事業展開、教育施策への反映方法は、
・経年劣化等により使用不能な教育機器や機材が多数ある。
現場の声を聴き、対処方法を検討すべきではないか。

2. 子育て支援

・学校における放課後事業にどう取り組むか。

3. 女性の起業促進

・女性が活躍するための施策をどう具体的に展開するか

4. 情報発信

・台風被害があった中、「令和元年戸田市の10大ニュース」第1位に市長は「夏菜さんが戸田市初のPR大使になった」を選び、多くの市民が違和感を持った。今後の情報発信の姿勢について問う。

5. セルフ健康チェック

・若年世代の健康意識の高め方と高齢者の健康長寿の実現方法は、

6. 地域包括ケアシステム

・高齢者が安心して暮らし続けることができる社会とはどんな社会か。

7. ハザードブック改訂

・昨年の台風被害の課題をどう認識し、改訂を図るのか。

8. 自転車道路の整備

・現状と今後の整備計画。歩行者にも自転車にも優しいまちの姿とは。

9. 誰もが働きやすい職場環境づくり

・「市長の側近にイエスマンばかり配置し、ものが言いにくくなった」「職員のモチベーションは極度に低下し、やる気を失っている」等の情報がある。市職員の職場環境づくりにどう取り組む考えか。

市長の回答は、残念ながら、指摘した内容に的確に応じたものではありませんでした。そんな市長に対し、伊東団長は、中国の故事「天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに遅れて楽しむ」を引用し、見た目ばかりを気にする活動ではなく、市民のために命を懸ける政治に真剣に取り組んでいただくことへの期待を述べ総括質問を終えました。

伊東団長と市長との実際のやりとりをぜひ映像でご確認ください。



映像
確認

戸田市議会会派 令和会



佐賀県多久市東原庁舎内会議室にて(視察研修先)



令和会は、豊富な社会人経験により培われた感性と知識を持つ「プロフェッショナルな議員」から構成される会派です

新型コロナ対応 緊急支援特集

■「市民の生命」「財産」「幸福追求権」を守るのが政治の使命。
そして、国や県の支援では手が届きにくい部分を補うのが市の役割。
「戸田市新型コロナ対応緊急支援パッケージ(令和2年4月22日発表)」だけでは、暮らしの維持や事業所の存続、市民の命を守る医療体制の充実が難しく、引き続き、二の矢、三の矢となる支援が必要だと、私たちは考えます。
令和会は、戸田市議会から市政に対し働きかけてまいります。



市政に活かす視察研修報告

視察報告書(PDF)
令和会HPからダウンロードできます。
<http://reiwakai.jp>



◆「音声自動文字化システム」

2019年7月1日

市政モニター提案を受け佐賀県唐津市議会の「傍聴者向けの音声自動文字化システム」を見学。変換速度と精度、外国語に即翻訳できる機能等から十分検討に値すると考え、議会改革特別委員会に提案しました。



唐津市議会傍聴席

◆「地域担当職員制度」

2019年10月15日

市長公約の一つ「地域担当職員制度」について考えるために、制度導入先進地・北海道稚内市を視察。今後、議会で、戸田市の現状と課題に即した意味ある制度になるよう指摘してまいります。



稚内市議会議場

◆「友好都市交流事業」

2019年7月2日

外国都市との友好交流のあり方を考えるため、佐賀県多久市を視察。多久市には中国との文化交流のシンボル「多久聖廟(孔子廟)」が現存。更に、小学生は「論語カルタ」高校生は多久聖廟で舞を演じ、大人達がそれを支えています。
自己肯定感や郷土愛、誇りを生むような友好都市交流を戸田市でも進めることができるよう図ってまいります。



多久聖廟(孔子廟)

◆「教育改革」

「ICT教育」「教職員の働き方改革」の先進地・多久市に、全国初のフルクラウド化で実現した教育ICT環境の整備・教職員の働き方改革を学びました。戸田市教育環境充実を後押ししてまいります。

◆「ウォーキングステーション」

2019年10月16日

この10年間で独り暮らしの高齢者割合が3倍になった戸田市の実態を踏まえ、札幌市の、「ウォーキングスポーツ」普及活動を視察。戸田市においても、ウォーキング普及を後押ししてまいります。



札幌市立西区体育館受付

私たち令和会は、「縁故や不正を市政に持ち込まず、持ち込ませず、公平・公正を追求する」「人が活きる」政治・政策を、戸田市民のために進めてまいります。



さらに、市政に求めている支援分野



①さらなる財政出動

財政調整基金や防災減災基金を可能な限り取り崩し対応

| 現状 | 私たちの考え |
|-------------------------------------------|------------------------------------------|
| 総額約50億円ある財政調整基金から1億円、10億円ある防災減災基金から1億円の供出 | 過去に例をみない国難とも言うべき事態と認識し、最大限かつ大胆な財政出動をするべき |

②事業所の家賃・人件費補助

緊急事態宣言により休業を余儀なくされた事業者に対し家賃や人件費を給付支援、等

| 現状 | 私たちの考え |
|------------------------------------|------------------------|
| 小規模事業者等臨時給付金の予算は2400社分(総額2億8千万円)のみ | 事業者が困っている「家賃や人件費支援」が急務 |

③医療体制の充実

発熱が続く方を専門に受け付ける「発熱外来」や「隔離療養施設」の設置・拡充、等

| 現状 | 私たちの考え |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 戸田市内に公立の発熱外来や隔離療養施設はまだ用意されていない | もし罹患したらどうしようと心配な方々に安心を提供する体制づくりが急務 |

④市民生活の維持

高齢者の心と身体のケア、教育分野への予算づけ、保育・学童への支援、子育て世帯全てへの給付金、等

| 現状 | 私たちの考え |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童扶養手当受給世帯と就学援助認定世帯に対してのみ一律3万円の給付金があった | 高齢者や給付金の対象となっていない子育て世帯への支援、休業により遅延やオンラインを余儀なくされた教育体制の充実、働く親を支える保育・学童体制が今後も維持されるための支援など、支援する範囲を広げることが急務 |



伊東秀浩 山崎雅俊 斎藤直子 望岸義雄 林冬彦

